

八王子市立第四・第十・大和田小学校

放課後子ども教室 囲碁教室だより

四十六号 2020年7月

編集 成田 滋 shigerunarita@gmail.com

ブログ <https://naritas.jp/wp1/>

八王子囲碁連盟 <https://hachigoren.com>



7月の囲碁教室 再開です！

- 第四小学校：7月6日,13日,20(月曜日) 2:30pm
3階ひらめきルーム
- 第十小学校：7月3日,10日,17日(金曜日) 2:30pm
1階家庭科室
- 大和田小学校：7月1日,8日,15日(水曜日) 2:30pm
2階第2音楽室

～ADHD～おっちょこちょいのハリー

ADHDという言葉を知ったことがありますか。英語では「Attention Deficit and Hyperactive Disorders」の略語です。その意味は「注意が集中せず、じっとしているのが難しい」ということです。要するに落ち着きがない状態です。ADHDは「発達障害」ともいわれます。こうした状態は子どもだけでなく大人にもしばしば見られる行動です。粗忽者のことで「おっちょこちょい」ともいえそうです。

兵庫教育大学の後輩で、岡山県の特別支援学校で教鞭をとる友人から新刊の絵本がおくられてきました。タイトルは「～ADHD～おっちょこちょいのハリー」です。主人公は関西弁のハリネズミ、ADHDの「ハリー」です。おっちょこちょいでそっかしいけど、好奇心にあふれ友だちと遊ぶのが大好きなハリネズミです。担任は「カバ先生」です。ハリーを時々注意しますがハリーのことを暖かく見守るのです。クラスメートはキリンちゃん、ウサギちゃん、タヌキくん、ゾウくん、シマウマくんです。



◎忘れ物

ハリーの特徴です。「授業を始めよか」とカバ先生。「あれ？あれ？あれ？」ハリーは教科書を探します。隣のキリンちゃんが「ハリー、なにしてんねん」ハリー「教科書がない！」キリンちゃん「え～また？」ハリー「ええやん」といってキリンちゃんの教科書

を引き寄せます。「もうやめて！」カバ先生「こら、ハリー！」といった具合の教室です。

ハリーは勉強が苦手なのです。好きでないことをするのが苦手なのです。教科書を忘れるのはそのためと考えられます。カバ先生はハリーのために、持ってくるものリストをランドセルの裏にはりつけます。カバ先生「よし、これでだいじょうや！」

◎じっとしてられない

授業中、ハリーはきよろきよろしています。鉛筆削りで鉛筆を削りをまわします。カバ先生「こら、ハリー、なにしてんねん！」ハリー「えんぴつつけてるんや」カバ先生「ちゃんというてから行け！」（ううう、がまんできへん、あかん！）カバ先生「ハリー、なにがしたいんねん お前」ハリー「んー、ずっとすわってられへんねん」ハリーは授業中にプリントを配る係に選ばれました。

◎好きなことには集中

図工の教室でハリーは小さな家を作っています。タヌキくん「ハリー、どんな家を作ってんねん？」ハリーは集中して答えません。チャイムが鳴り授業が終わりました。カバ先生「ハリー、チャイムが鳴ったで！」友だち「まだやってんの？」ハリーは好きなことをしているときの集中力はすごいのです。時間がきても、好きなことに集中したいのです。カバ先生はハリーのそばにタイマーを準備しました。カバ先生「ハリー、このタイマーが鳴ったら終わりやで！」

ADHDの子どもの他の特徴として、「順番を待つのがむずかしい」「思ったことをすぐ口にだす」「注意が多くて自信をなくしがち」などがあります。周りの大人は、じっくりと構え、自分自身が余裕を持つことです。すぐに叱ったり注意してもダメなのです。ADHDの子どもは大人をカッとさせるのが名人なので、その手にのらないことです。

成沢真介：文／木村倫子：絵／ 販売価格 ¥1,980
少年写真新聞社 03-3264-2624